

アレスシックイの抗ウイルス性について

関西ペイント販売株式会社
建設塗料本部 営業部

【抗ウイルス性の確認】

長崎大学熱帯医学研究所、ウイルス研究の第一人者である安田二郎教授の指導の下アレスシックイのウイルス不活化(複製、増殖機能の消失)検証を実施しました。

【ウイルス不活化検証結果】

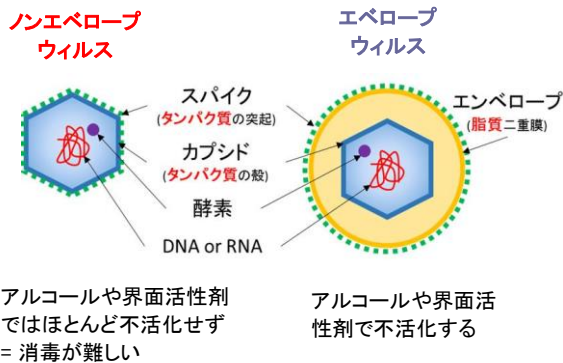
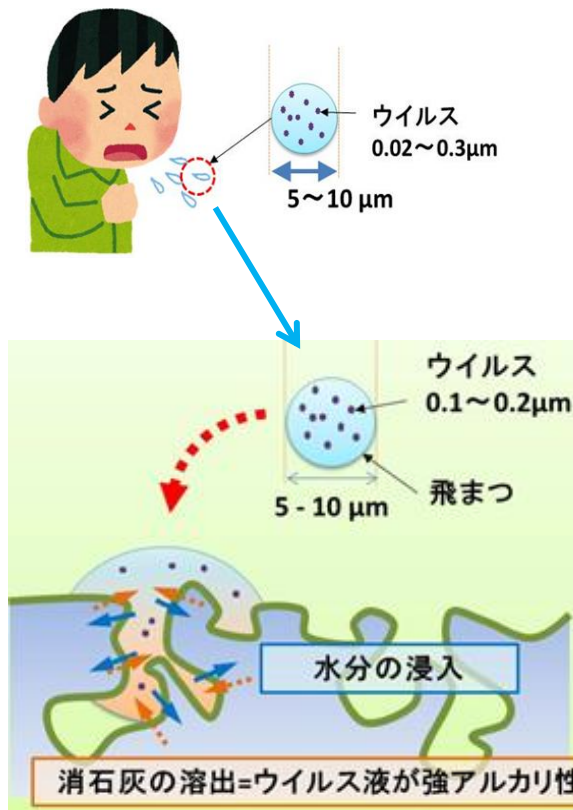


図: ウイルスの種類と構造

	ノンエンベロープウイルス	エンベロープウイルス		
ウイルスの種類	イヌバルボウイルス (CPV)	インフルエンザウイルスH3N2 (IFV)	水痘性口内炎ウイルス (VSV)	ウシ丘疹性口炎ウイルス (BPSV)
特徴 (選定理由)	一般的なノンエンベロープウイルス	ヒトに感染する最も身近なウイルス	感染力が強い	乾燥や消毒薬に強い
類似ウイルス	ノロウイルス ロタウイルス アデノウイルス ポリオウイルス	SARS・MERSコロナウイルス ヒト免疫不全ウイルス(HIV) エボラウイルス ジカウイルス		天然痘ウイルス ヘルペスウイルス
試験結果	○ 効果あり	○ 効果あり	○ 効果あり	○ 効果あり

ウイルスはタンパク質と核酸で構成され、生物の細胞に吸着して複製→増殖します。アレスシックイは、ウイルス全般に効果がある事が確認されました。

【なぜウイルスの機能が消失するのか?】



ウイルスは、咳・くしゃみによる飛まつ中や吐しゃ物など水分とともに存在します。

ウイルスがアレスシックイの多孔質な表面に付着すると、水分の浸入により消石灰の溶出が起きて、飛まつが強アルカリ性になります。

アレスシックイ表面は強アルカリ性



これにより、ウイルス中のタンパク質や核酸が変性されて複製や増殖の機能を失います。